

住吉名勝圖

五





住吉名勝圖會卷之五目錄

住吉神樂受取渡場之圖

堺神明宮之圖

同宿院之圖

同方違宮之圖

住吉踊之圖

同大寺之圖

同甲社由来

同向泉寺之圖

舳之町之由来



神詠和歌圖

西林寺之圖

赤染衛門奉和歌圖

神木之由来

以上

神講和歌圖

蛙詠和歌圖

小集樂之圖

墨吉山歌詠煙雲
猿意牙子能新夕
望園畫置巾笈

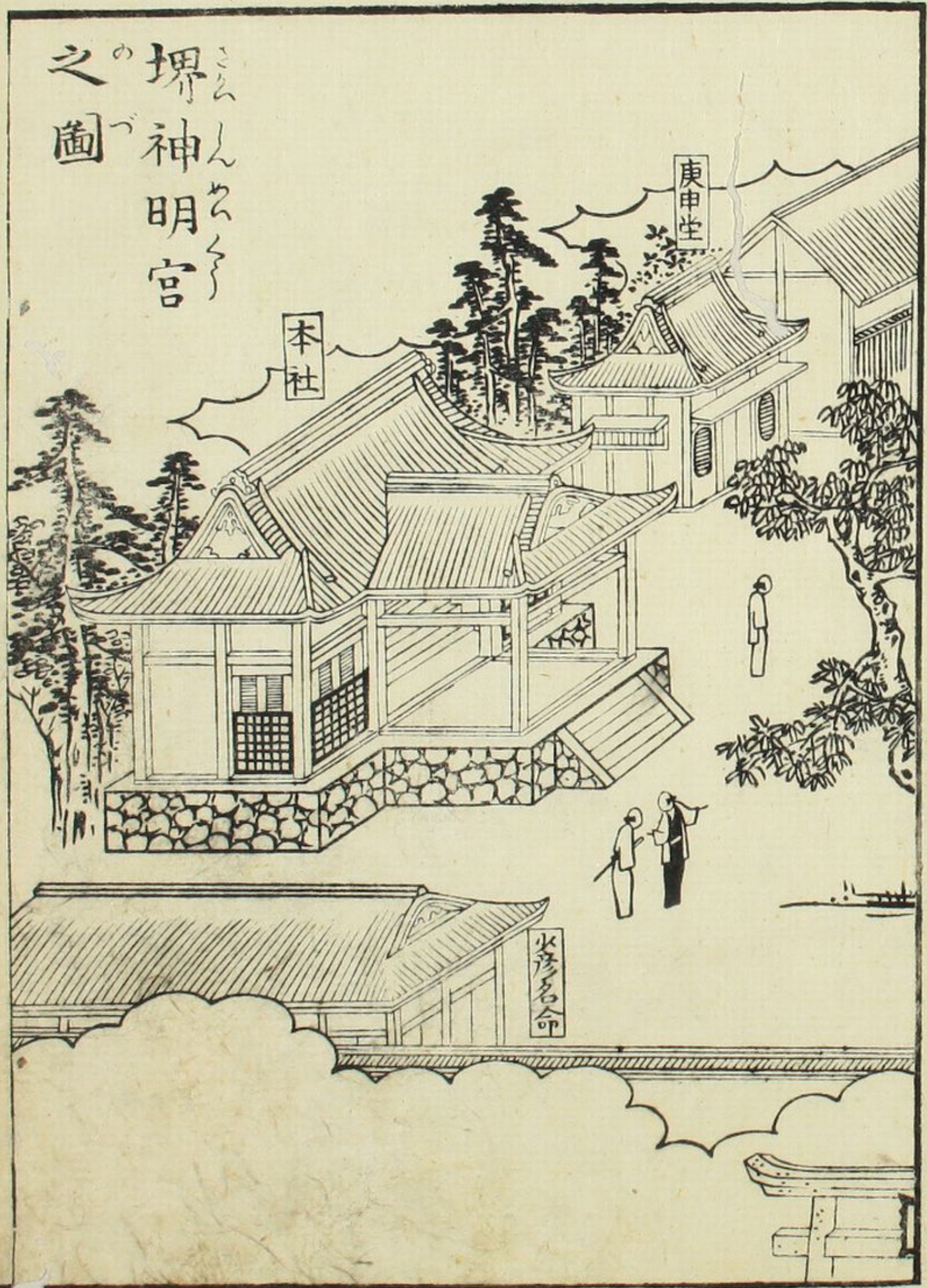
三島庄道齋

受取奉りよつて受取
 渡場
 大和橋長廿百二
 間
 御城の東と京橋の
 下
 十七年河内柏原村
 西
 と堀切々の大和川
 とやれん



大和橋神輿
 受取渡之臺
 石
 六月荒和大枝神輿
 堺の宿院御幸の
 時此所を揮川乃
 加長泉州の加長
 神輿と渡奉り
 還河の節此所





神明宮

東西十間
南北九間

祭神伊勢外宮内宮春日明神八幡太神代相殿元九月

十六日十月十六日祭礼執行六月住吉の神樂堀の宿院

御幸の道すべし此神明町を遙く隔て供奉しつる有事

三村大明神社

有泉州大鳥郡鹽穴下條開口村今之社領八十石境内東西南北六十一間四面

祭神伊事勝食勝國長狹尊号鹽土老翁相殿二座素戔鳥

尊生玉大神也抑塩土老翁奉りて伊特諾尊の御ふりて

日向國小戸の鹽瀬と誕生すり葦原瑞森に移住りて

神功皇后三韓退治の御時皇后より合せり夷國平治

の後當津に跡をたれ三村大明神と拜まれり

開村木戸村
原村の三村

三村明神より其後人王四十五代聖武天皇天平十六年

行基上人勅して此地一字の道場を建立しり密乘山

大念佛寺と稱し俗呼て大寺と稱し祖師弘法大師真言

金堂 中尊藥師如来 左釈迦牟尼佛 右阿彌陀如来日光菩薩十二神將

三重寶塔 本尊大日如来 聖德太子御作之四天王

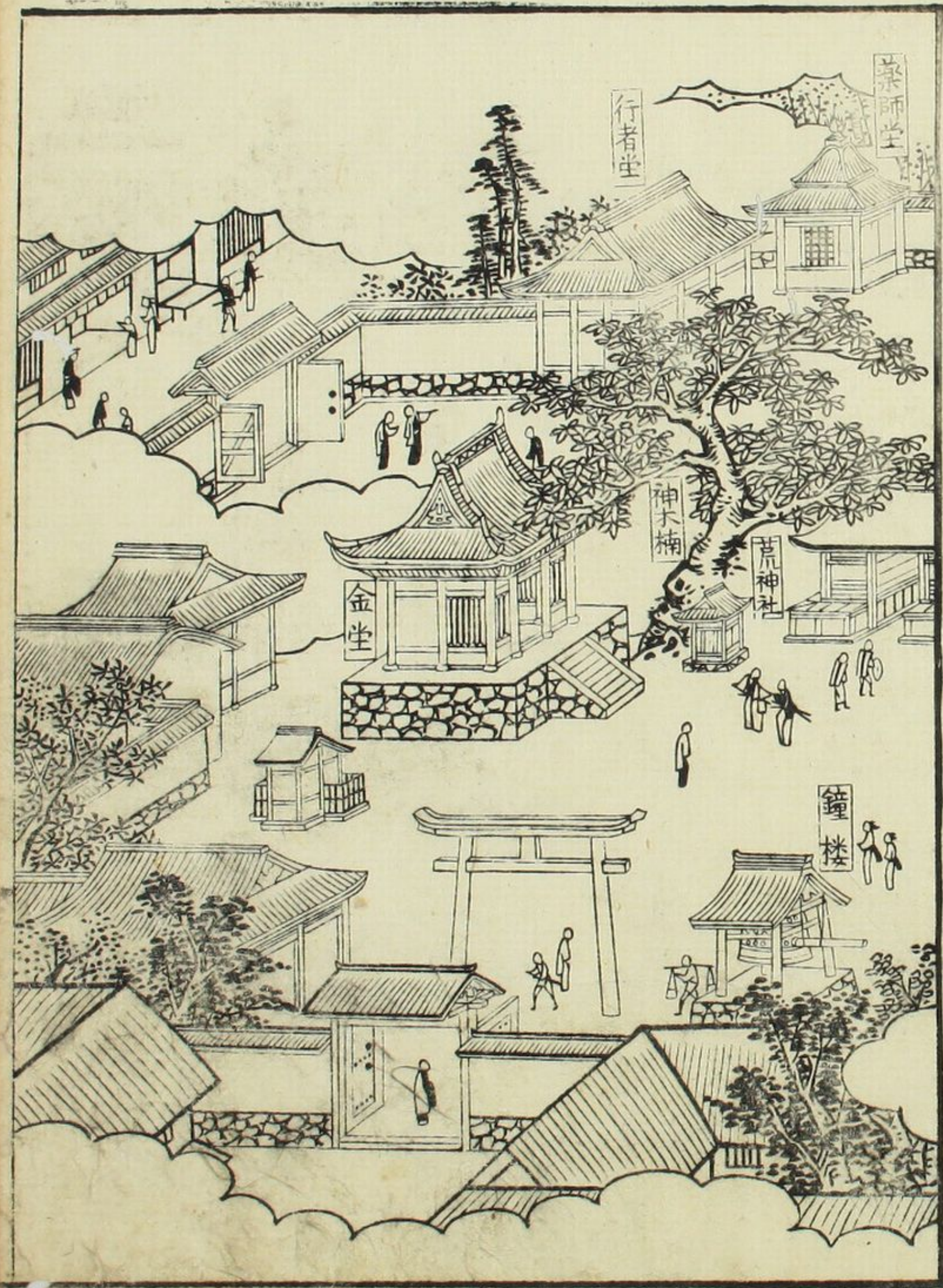
鐘樓 食堂 已下提社 天照皇太神宮 外宮 荒神社 大寺の鎮

天神社 安住寺の鎮守也本寺 觀音堂に兵亂焼亡れ 馬堂明神社 甲明神社 稻荷明神社

舟玉明神社 夷社 大黒社 如意御前 大寺より三町長 景向石

鉾塚 不盡菴 藥師堂 衆徒六坊 西の門密乘山の額石

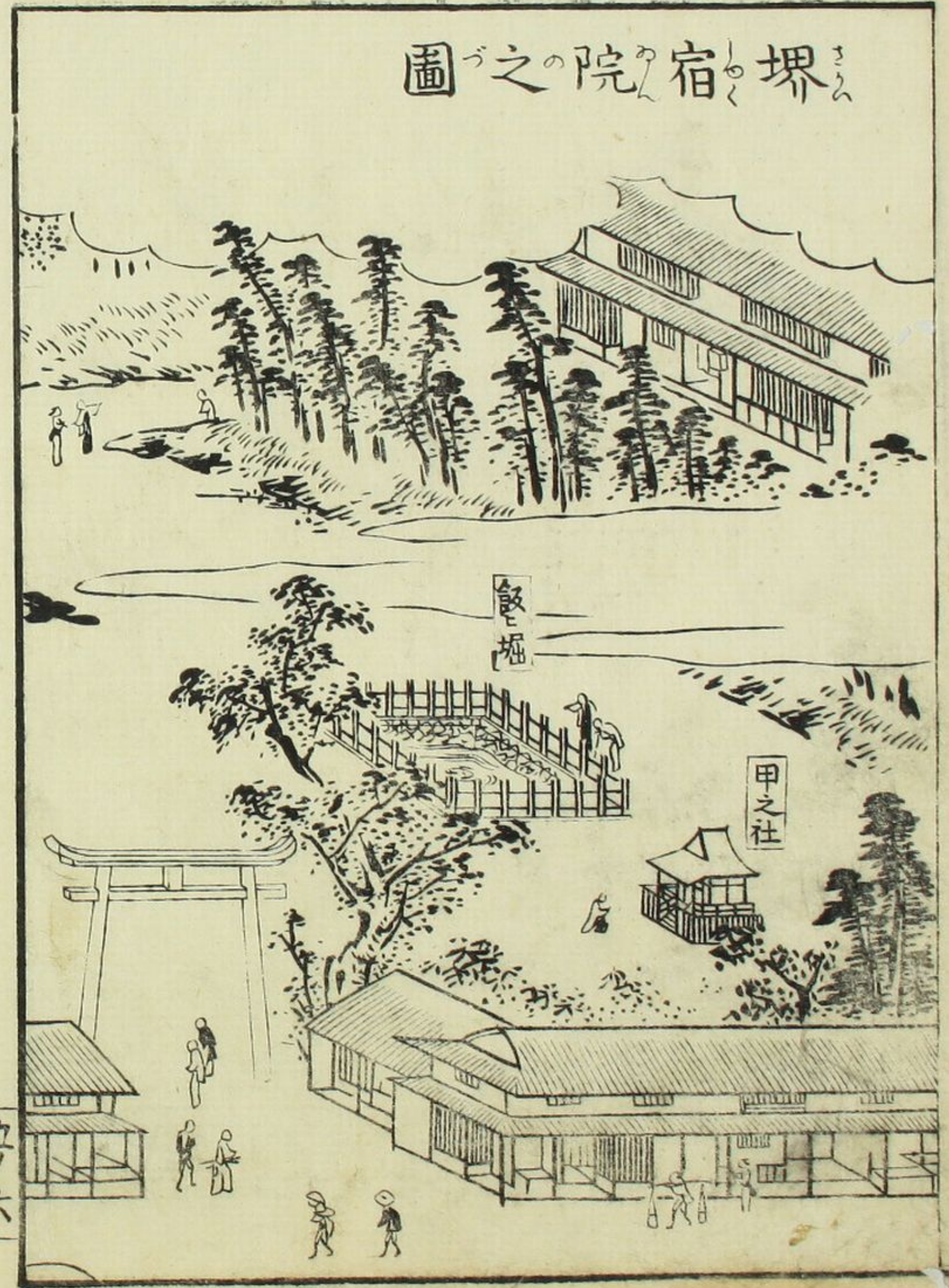
の鳥井三村大明神の額竹内の門主良尚親王の御筆なり



三村大明神社
密乘山大念佛寺



堀宿の院之圖



宿院

境内東西八十四間南北六十間

例年六月晦日住吉明神の神輿此地へ渡御なせり
御施所なり故に宿居し書り神輿の假りし居すれども
ざんまり境内に祭る小社の舳松社如意社甲の社なり
南の方の飯と堀の昔時神功皇后干珠を埋めたり
堀の大サ東西四回半南北五回大鳥井のり小鳥井のり
此所の地名と九艘小路とを神功皇后所歸陣の時
此浦へ所舳九艘とせりて名にけり
其所舳をほきり松樹神と祭りて舳松丸奉
松もりなり

甲の社

皇后三韓平治
御歸陣
甲明神と
奉る







寺泉向山國三



方違大明神社

神功皇后三韓より歸朝して住吉明神爰に住をき
 より訖宣ましく泉州地守の浦へ移せしむ此所にて
 方違の所移まきて今の住吉の地へ所鎮座しむ
 旧跡と方違大明神と況い祭り奉る是よりて家宅を營
 むもの此社地の土灰受て其造作の地よりつとまこへ旅立
 船中長途の時も此土と方違の守り例年五月晦日當社
 の祭礼として土の糝と供へ奉る土俗羣系して方違の御札并
 此標と拜受す平常の日も向泉寺の別當是と於り諸
 人の需ふ應して何ふも人の知る所なり

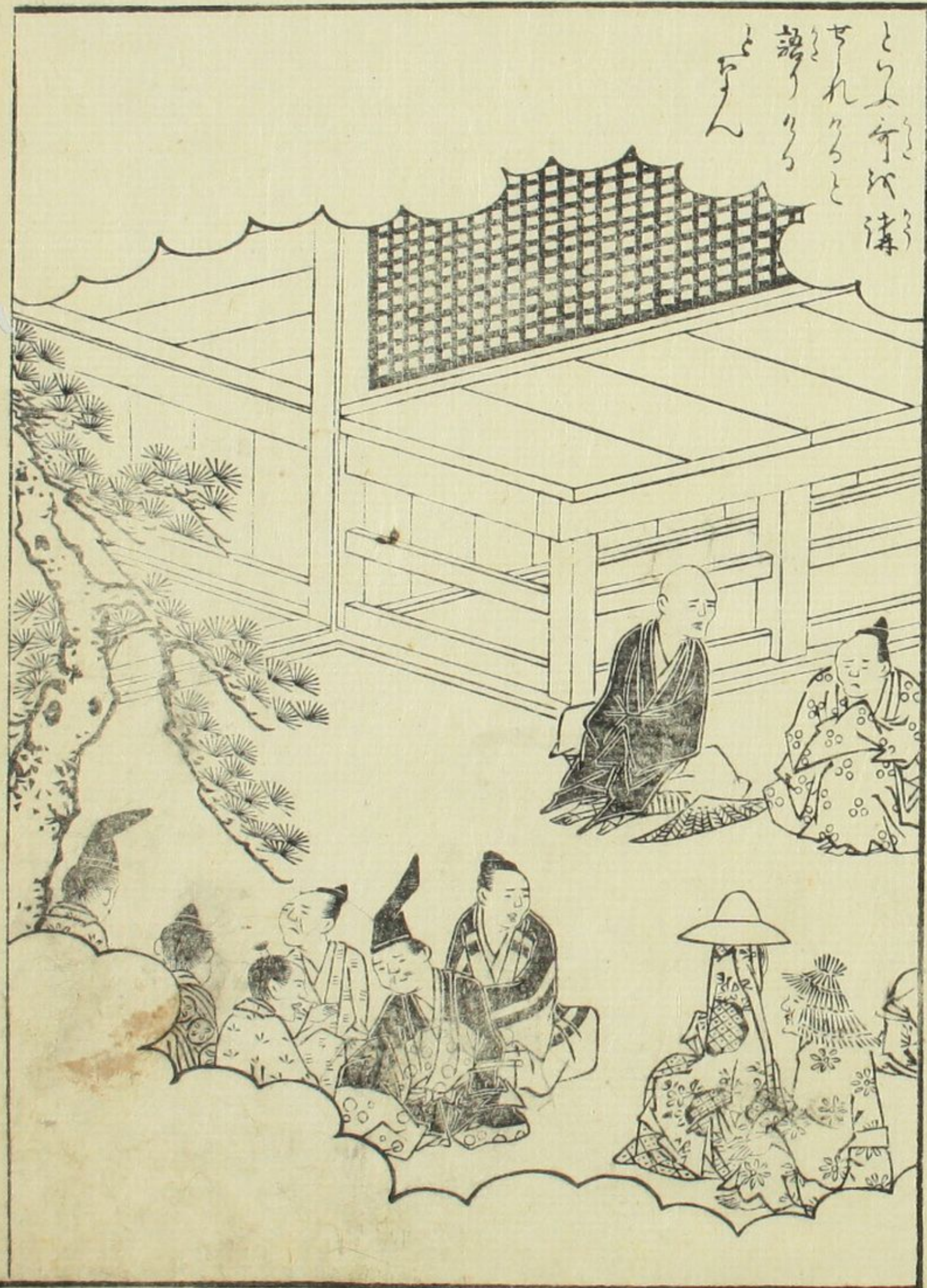


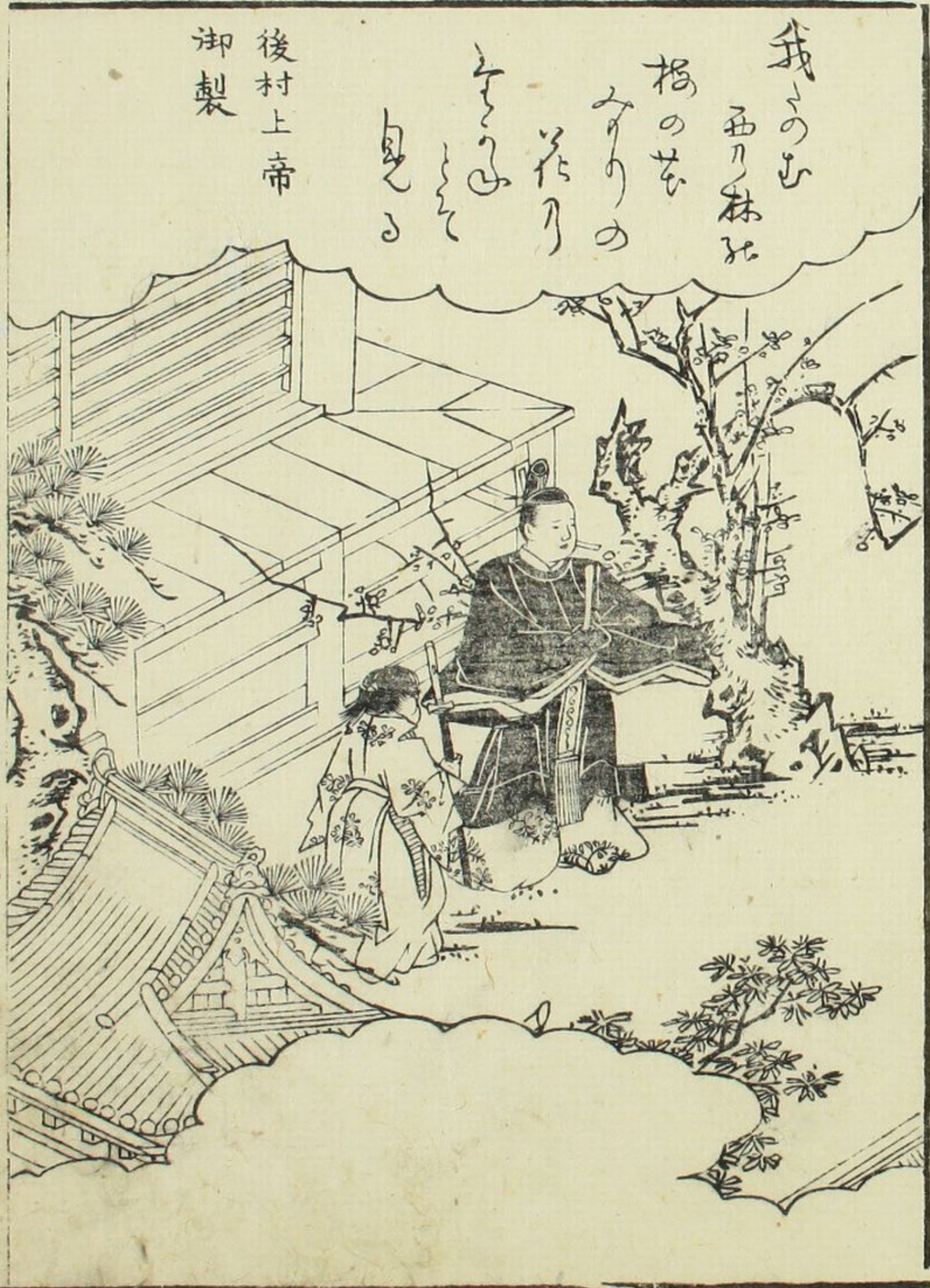


此車兼那々百首の
 瀬も見ゆは
 さら新飛
 より新飛へ
 貢き奉りし
 船
 八十艘今の
 堺の津り
 着より
 ぶーく
 堺の
 浦と八十八と



神功皇后
 武庫の
 浦
 御船
 堺
 看き候
 船の町







此書は尾上くおまゝに度の高麗橋幸おゝと
 さりし一葉の画司けり業にゆふしおまゝ
 おりたる画しをのう孫のはらたせり
 ふらふらたる画しと書し
 休るゆえたる書記志う
 四所のは神一はおぬん
 おぬんおぬんおぬん
 のこしおぬんおぬん
 乃其浪舟の孫師玉山おぬん



寛政六甲寅歳六月吉辰



大坂高麗橋上人甲

大西甚七

京御幸町御池下

藤井孫兵衛

江戸通本町三早目

西村源六

同右同町

雁金屋治右衛門

書林

